

第三回産業クラスターサポート 金融会議の開催

去る一月十四日、那覇市内において、沖縄県銀行協会主催の「第三回産業クラスターサポート金融会議」が開催され、県内三行（沖縄銀行、琉球銀行、沖縄海邦銀行）及び一信用金庫（コザ信用金庫）に対し、融資を希望する O K I N A W A 型産業振興プロジェクト推進ネットワーク会員企業の四社が各々の事業計画についてプレゼンテーションを行いました。



会議風景



竹内社長(株)ディアアイエス

同会議は、平成十五年三月二十八日に金融庁から発表された「リレーシヨシツパンキングの機能強化に関するアクションプログラム」に基づき、中小・地域金融機関による創業・新事業支援機能の強化の一環



松尾会長(株)日本マテリアル環境

として、平成十五年度から開催し、沖縄においては、沖縄県銀行協会、当局財務部及び経済産業部の協力で開催しています。
今回、それぞれ先端的技術力を有する(株)ディアアイエス(具志川市、竹内康

二社長)、日本マテリアル環境(株)(具志川市、松尾年純会長)、(株)環境浄化センター(糸満市、久保田満社長)及びSTILF(株)(浦添市、城田小夜子社長)の四社が事業計画のプレゼンテーションを行いました。
経済産業部においては、今後も沖縄県銀行協会及び財務部との連携の下、有望な研究開発型企業への資金面における支援を行っています。

O K I N A W A 型産業振興プロジェクト

経済産業省が推進する産業クラスター計画の全国 19 プロジェクトの一つとして、地域において比較優位性をもつ 4 分野（健康関連産業、情報関連産業、環境関連産業及び加工交易型産業）を対象として、産学官の広域的なネットワーク形成を図るとともに、総合的かつ効果的な支援施策の展開による産業クラスターの形成を目指しています。